令和８年度 オンライン研修 プログラム　【オンデマンド配信期間 ：令和８年10月１日～令和９年１月15日】

	研修内容	研修目的	研修目標	時間（データ通信量）	担当者
Ⅰ 感染管理	1.感染対策の基礎				
	a. 標準予防策	標準予防策が理解できる	①標準予防策の項目を知ることができる ②標準予防策を実践できる	約18分（約80MB）	藤本 陽子
	b. 手指衛生	手指衛生の必要性、タイミング、正しい方法が理解できる	①感染対策の基本である手指衛生を学ぶことができる ②正しい技術を習得できる	約19分（約90MB）	手塚 美奈
	c. 感染経路別予防策	感染経路別予防策が理解できる	①3つの感染経路別予防策（接触・飛沫・空気）の違いがわかる ②上記に必要な個人防護具を選択できる	約27分（約100MB）	吉田 真由美
Ⅱ がん看護	1．緩和的ながん治療を続ける患者・家族の支援				
	a. がん患者・家族のアドバンス・ケア・プランニング	がん患者のアドバンス・ケア・プランニングを学ぶ	①がん患者のアドバンス・ケア・プランニングについて理解できる	約22分（約80MB）	安達 美樹
			②事例でACPの多職種連携を理解できる	約15分（約70MB）	
	b. 緩和的ながん薬物療法	治癒を目指すことが難しい患者の緩和的ながん薬物療法の看護を学ぶ	治癒を目指すことが難しい患者を対象とした ①経口抗がん薬による治療とその看護を理解できる ②免疫療法による治療とその看護を理解できる	約37分（約130MB）	森 奈緒美
	c. 緩和照射と骨転移のケア	がん進行による症状緩和目的のがん放射線療法看護を学ぶ	①緩和照射の対象と治療の概要について理解できる ②緩和照射を受ける骨転移のあるがん患者のケアを理解できる	約29分（約100MB）	岡本 泰子
	d. 看取りのケア	がん患者の看取りにおけるケアを学ぶ	①がん患者の看取り期における徴候や予後に沿った看護ケアを理解できる ②看取り期における家族の予期悲嘆の様々な反応を理解できる	約43分（約120MB）	内田 新
	2．症状緩和のスキル				
	a. 呼吸器症状のケア	がん患者の身体症状をアセスメントし、症状緩和のための治療やケアを理解し実践に活かす	①呼吸器症状のアセスメントに必要な症状のメカニズムと原因および評価を理解できる ②症状緩和のための治療やケアについて理解できる	約44分（約160MB）	岡本 泰子
	b. 消化器症状(補液管理も含む）のケア		①消化器症状のアセスメントに必要な症状のメカニズムと原因および評価を理解できる ②症状緩和のための治療やケアについて理解できる	約40分（約140MB）	石坂 暁子
	c. 倦怠感のケア		①倦怠感のアセスメントに必要な症状のメカニズムと原因および評価を理解できる ②症状緩和のための治療やケアについて理解できる	約23分（約90MB）	内田 新
	d. がん性疼痛のケア		①がん性疼痛のアセスメントに必要な症状のメカニズムと原因および評価を理解できる ②症状緩和のための治療やケアについて理解できる	約50分（約150MB）	坂口 まみ
	e. がん性疼痛における医療用麻薬の管理（皮下注射の穿刺、PCAポンプの操作を含む）		①医療用麻薬の適切な使用・管理方法について理解できる ②皮下注射の穿刺方法を理解できる ③PCAポンプの操作方法を理解できる	約37分（約140MB）	前田 望花
	3．オンコロジーエマージェンシー ～がん患者における緊急的病態～	オンコロジーエマージェンシーについて、迅速かつ的確な対応に求められる知識を身につけ、実践に活かす	①オンコロジーエマージェンシーの病態と症状を理解できる ②オンコロジーエマージェンシーの観察ポイントと治療を理解できる	約43分（約130MB）	倉内 梨樺

研修内容		研修目的	研修目標	時間（データ通信量）	担当者
Ⅲ 慢性疾患を持つ患者	1．摂食嚥下機能の基本的なメカニズムと食事支援	摂食嚥下機能の基本的なメカニズムを理解し、口から食べる食事支援に活かせる。	①摂食嚥下機能の基本的なメカニズムが分かる ②口から食べる際の食事中の観察ポイントがわかる	約23分（約90MB）	信國　知代
	2．慢性心不全の管理とケア	慢性心不全の病態と増悪因子、増悪予防に関する知識を深め、在宅での療養生活支援に活かせる	①慢性心不全患者が経験している症状と心不全増悪因子が分かる ②在宅療養で必要なセルフモニタリングや症状コントロールの支援方法が分かり、生活指導が実践できる	約10分（約60MB）	浅倉 愛実
	3．ストーマ患者のケア	ストーマ（人工肛門・人工膀胱）管理の基本的なケア方法が分かる	①ストーマケアの基本が分かる ②管理困難なストーマケアのポイントがわかる	約１時間19分（約480MB）	増田 未散
	4．認知症患者のケア	認知症患者の症状を理解し、対応やケアに活かす	①認知症について理解できる ②認知症の方とのコミュニケーションのポイントがわかる	約49分（約260MB）	市川 麻紀
	5．家族アセスメント	家族アセスメントについて学び、家族ケアに活かせる	①家族アセスメントに必要な情報収集について理解できる ②家族機能を理解し、家族への精神的サポートが検討できる	約37分（約130MB）	江田 由美子
	6．糖尿病管理とケア	患者が糖尿病合併症の発症や進展を予防しながら、日常生活を送るための自己管理を支援できる	糖尿病治療の基本（食事・運動・治療薬）について学び、自己管理のための支援について理解できる	約1時間29分（約240MB）	藤本 美枝
Ⅳ 人工呼吸器装着患者	1．人工呼吸器の仕組みと関連ケア				
	a．人工呼吸器の仕組みとフィジカルアセスメント	人工呼吸器管理の基本的な仕組みとフィジカルアセスメントを学ぶ	①陽圧管理と自然呼吸の違いを理解し、必要な知識を習得する ②人工呼吸器管理中の患者の意識・呼吸・循環について理解できる ③人工呼吸器管理中の患者の意識・呼吸・循環の情報を収集しアセスメントすることができる	約53分（約180MB）	田中 貴子
	b．気管切開管理に必要な知識と技術	人工呼吸器管理に必須な基本的知識を学ぶ	①気管切開管理に必要な知識と技術を理解する ②気管切開に必要な解剖・生理を学ぶ	約36分（約100MB）	吉田 裕二朗
	c．人工呼吸器関連ケア	人工呼吸器管理に必須な基本的ケアを学ぶ	①人工呼吸器患者の排痰援助の方法を理解・習得できる ②口腔ケアのエビデンスを理解し、技術を習得できる	約44分（約120MB）	村上 志穂
	d．急変の徴候	急変の徴候について学び、対応やケアに活かす	急変の徴候について学び、対応に繋がる基本的知識を理解できる	約23分（約100MB）	片岡 早希子
	2．感染予防　・物品の洗浄・消毒	人工呼吸器に関連した物品の洗浄・消毒を学ぶ	在宅で使用する人工呼吸器に関連した物品の洗浄と消毒を適切に行うことができる	約36分（約120MB）	手塚 美奈
Ⅴ 専門職による特別講義	1．在宅での医療的ケアが必要な小児の管理				小児在宅医療支援ｾﾝﾀｰ・熊本県医療的ケア児支援ｾﾝﾀｰ 小児科　医師 小篠 史郎 先生
	a．小児の在宅人工呼吸管理	成人と異なる小児の在宅人工呼吸管理を学ぶ	①小児集中治療において世界的にスタンダードなDOPE（いきつめアセスメント）の在宅人工呼吸版を用いた急変時対応方法について学ぶ ②閉塞の原因のひとつである腕頭動脈気管圧排による窒息について理解する	約41分（約150MB）	
	b．小児の気管切開管理と関連ケア（成人との違い）	成人と異なる小児の気管カニューレ・吸引方法を学ぶ	①成人にはない小児の気管カニューレの特徴を学ぶ ②腕頭動脈と気管カニューレの位置関係により、吸引カテーテルの挿入長を変える必要性について学ぶ	約14分（約80MB）	
	c．小児の胃ろう管理（成人との違い）	成人と異なる小児の胃ろうの構造・注入方法を学ぶ	①成人で一般に使われているバンパータイプと小児で使われるバルーンタイプの胃ろうボタン・接続チューブの取り扱い方法の違いについて学ぶ ②小児に特有の胃ろうの構造・注入方法について学ぶ	約14分（約80MB）	
	2．在宅における小児の多職種連携	成人と異なる小児の多職種連携ができる	医療的ケア児支援法の制定された背景や障害福祉サービス、保育園、学校の制度を理解し、在宅関係者との連携方法など、看護師の役割について学ぶ	約１時間8分（約190MB）	
	3．在宅における栄養管理	在宅療養において効果的な栄養管理の支援ができる	①在宅高齢者の栄養アセスメントと栄養・食事療法について理解できる ②高齢者の誤嚥・脱水の予防、ケアのポイントを学ぶ ③経管栄養、終末期の栄養管理、栄養補助食品等の利用等について学ぶ	約51分（約140MB）	管理栄養士 三島 裕子 先生